

ヤマトグループ100年史

ヤマトグループ100年史

1919-2019



発刊のご挨拶

1919(大正8)年11月29日、大和運輸株式会社として東京・銀座で創業したヤマトホールディングス株式会社は、昨年2019(令和元)年に創業100周年を迎えました。これもひとえにお客さま、社員をはじめ当社とともに歩んでくださった皆様のおかげであり、心より感謝を申し上げます。

荷物を運ぶ手段が牛馬車、荷車であった時代、トラックの数は日本全国でわずか204台にすぎませんでした。そうしたなかで創業者・小倉康臣が自動車の将来性に着目し、トラックが必ず貨物運送の主役になるという強い信念と創意工夫によって始めたのが、トラック運送事業です。創業の際に購入したトラックは4台でした。

その後100年という長い道のりのなかには、1929(昭和4)年に日本で初めての路線事業として東京－横浜間で定期便を開始したこと、1976年に宅急便を発売したことなど、大きな節目がありました。また、100年間の歴史を支えてきたものは、創業者から受け継がれてきた「イノベーションを起こすチャレンジ精神」と創業者が制定した「ヤマトは我なり」「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」「思想を堅実に礼節を重んずべし」の社訓です。

これまで、当社では社史として創業40周年の際に発刊した小倉康臣の自叙伝『あゆみ－大和運輸の四十年』、その後『大和運輸五十年史』『ヤマト運輸70年史』を発刊してきました。創

業100周年では正史と記念誌の2つを発刊することとし、昨年11月29日に『ヤマトグループ創業100周年記念誌 100年のあゆみ』を発刊しました。今回発刊した『ヤマトグループ100年史』は、100年の歴史を資料や記録に基づき年代順に編集した経営史です。

編集にあたっては、多くの皆様から貴重な資料のご提供や、取材などのご協力をいただきました。この紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。

当社の歴史は、新しい「運び方」の発明の歴史でした。そして世の中が大きく変わるなかで、時代は次の「運ぶ」を求めています。ヤマトグループは、これからも100年の歴史のなかで社員一人ひとりが培ってきた「お客さまにしっかりと向き合い、お客さまの立場に立って考える」という力を大切にし、新しい「運び方」を発明することによって、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。今後ともご支援とご厚情を賜りますようお願いを申し上げ、発刊のご挨拶といたします。

2020年11月29日

ヤマトホールディングス株式会社

代表取締役社長

長尾 裕



社訓

- 一、ヤマトは我なり
- 一、運送行為は委託者の意思の延長と知るべし
- 一、思想を堅実に礼節を重んずべし



創業者 小倉 康臣